

2024年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名 【 戸田駅前保育所 】

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について			
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている		B	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している		B	B
評価の根拠	方針・計画に沿って実践計画を練ったり、保育を行った。子どもたちのやってみたい！を保育に取りいれながら活動を進めた。季節ならではの遊びを積極的に行い、食への関心が深まる活動も多かった。		
2. 保育について			
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている		A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している		A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している		A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている		B	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している		A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている		B	B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができている		A	A
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている		A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている		B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができている		B	B
評価の根拠	忙しくても、クラス内での話し合いを設け、その日の保育を振り返りながら、子どもの育ちについて気付いたことや思ったことを共有するようにして、様々な気づきを知ることができた。また、リーダー会議等でも他クラスとの連携を取りながら、意見や考えを受け入れながら保育の質の向上に努めた。保育内容に関しても様々な観点で他の先生方と日々相談や共有をしながらより良い環境を整えることができるように努めた。		
3. 健康管理について			
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている		A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		A	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている		A	A
評価の根拠	玩具の消毒について、もう少し機会を増やすように努めたい。感染症の知識や情報は把握し、子どもたちの環境に合わせて配慮されている。		
4. 行事について			
① 行事の種類や実施回数は適切である		A	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		A	B
評価の根拠	子どもたちは行事を通して大きく成長している。また行事は子どもたちの成長を保護者の方とも共有できる場である。行事はしっかりと計画・準備・実施しているが、行事が多いこともあり、充実を図るもの、簡素化を図るものなど、子どもたちの最善の利益や主体性を尊重しながら、見直しを図りたい。		
5. 食育について			
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している		A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている		A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		B	A
評価の根拠	食事の時間に調理の先生がラウンドする機会を生かし、子どもの給食状況について日ごろから話し合いをしている。また、クラスの振り返りの時にも食事の様子について話し合うようにしている。保育者・調理師が連携を図りながら子どもたちにアプローチをできている。		
6. 運営について			
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある		A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている		B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である		B	B
評価の根拠	園長・主任への報告・連絡・相談を常に心がけている。共有が必要な時はすぐに集合する機会を設け、その時々に応じた必要な話し合いの場を設けている。		

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B	A	
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A	
③ 事故や災害に適應できるマニュアルをすぐに見ることができようしている	B	A	
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A	
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている	A	A	
評価の根拠 健康集会など年齢に応じて行い、避難訓練など計画に基づいて行っている。子どもたちの生活しやすい環境設定はしっかりと整えられている。			
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A	
② 研修報告を園内で実施している	A	A	
評価の根拠 必要な情報や知識を得られる研修に参加し、報告を行い、共有が図られている。			
9. 情報管理について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A	
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A	
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	B	
評価の根拠 個人情報の取扱いについては十分に気を付けながら、適切な場所で作成・保管している。作成に時間がかかりすぎていることもあった。			
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A	
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A	
評価の根拠 園内廊下のドキュメンテーション掲示板上にて日々の子どもの様子を保護者に提供している。			
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A	
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B	A	
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	B	A	
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A	
評価の根拠 日々の様子などを伝えると共に何かあればいつでも声をかけてもらうように伝えている。保護者とは懇談会や個人面談等を通して話し合う機会を設けている。			
12. 開かれた園づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	B	
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B	
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B	A	
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B	A	
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A	
評価の根拠 子育て支援については、一時保育事業や園独自の子育て講座を実施している。保育状況を地域の様々な方に公開していくことも検討したい。			
13. 情報発信について			
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている	A	A	
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている	C	B	
評価の根拠 園での活動を地域や保護者など、情報発信できているが、更なる周知の方法を検討したい。			
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	B	A	
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	A	
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている		A	
評価の根拠 子どもたち一人ひとりの性格・特徴を捉え、背景に応じた保育を心がけている。			
15. 総括			
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。			
・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点			
・多目的室を作ったことでオンライン研修も場所を気にすることなく受講できるようになり自己研鑽の機会が増えた。 ・見守りカメラを増設したことで安全面の強化や事故の詳細が把握しやすくなり、保護者にも詳細を説明できるようになった。 ・不審者対策の強化（ＩＣカードでの開錠）した。 ・クラスでの話し合いの時間と休憩時間を確保できるようになった。 ・年度初めに製作物、掲示について話し合いをして、園の壁面・ドキュメンテーションがより充実した。 ・一年を通して・子どもたちからの発信を大切に、子ども主体の活動について、意識した取り組みが進められてきた。 ・クラスの子どもの姿に合わせて昨年度よりも遊びを充実させることができた。 ・クラスごとに毎日、保育のふりかえりをするにより、子どもたちや保護者の姿をより深く理解し、保育士同士の連携に繋がった。 ・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点			
・会議や各種記録の効率化やノンコンタクトタイムの確保し、必要以上の時間外労働の削減を図ったり、休憩時間を適切に取っていく。行事の内容について、子どもたちや職員のペースで主体的な活動を取り入れ、見直しを図っていく。クラスや役職に応じた配慮を検討していく。今年度できた活動をもとに、より子どもたちが主体的に活動できるような保育を進めていきたい。			